

【別表】 アセスメント・ポリシーの評価指標と検証方法

レベル	評価指標	検証方法	データ
大学全体	年次別学生数	学科別学生数の経年的データによって現状を把握する。	事務室
大学全体 教育課程	入試区分別修学状況	入試区分別に、プレイスメント・テスト、GPA、eポートフォリオ（学習履歴）、休退学・卒業・就職・国試合格の状況を追跡調査して、入試の妥当性を検証する。	I R
	休学者、退学者、留年者数	学科別休学・退学・留年者数の経年的データによって現状を把握する。	事務室
	卒業率	学科別卒業率の経年的データによって現状を把握する。	事務室
	就職率	学科別就職率の経年的データによって現状を把握する。	事務室
	国家試験合格率	国家試験合格率の経年的データによって現状を把握する。	事務室
	卒業時満足度調査	卒業年次の学生を対象にした満足度調査によってディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーの妥当性を検証する。	学生生活支援委員会
	卒業生アンケート	卒業生を対象にしたアンケートによってディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーの妥当性を検証する。	学生生活支援委員会
教育課程 授業科目	単位取得状況	学生の単位取得状況から、教育課程の編成及び授業科目の構成について検証する。	事務室
	GPA	学科別、学年別にGPAの平均を計算し、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーの妥当性を検証する。	I R
授業科目	授業科目評価（シラバス・成績評価状況）	授業科目ごとに成績評価を集計し、シラバスの到達目標や授業内容の適正化、評価尺度の標準化を検討する。	I R
	学生による授業評価	授業評価アンケートの結果から、授業科目の内容、構成、評価基準について検討する。	FD・SD委員会